

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	税務課
職	課長
氏名	中田 孝一

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
公平・公正な税務行政を実施するため、課税事務の適正化と県税収入の確保に万全を期する。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか
① 課税事務の適正化を推進するため、県税(県総合)事務所の課税業務の集約化を進め、課税事務におけるチェック体制の充実を図る。 ② 滞納税額の縮減に資するため、自動車税滞納税額に関して滞納整理目標額を設定し、計画的な滞納整理を進める。 ③ 滞納税額の7割近くを占める個人県民税の確保を図るため、市町の個人住民税徴収業務を支援するとともに、県による直接徴収を実施する。 ④ 自動車税の納期内納税の促進を図るため、口座振替納税制度の利用率向上に努めるとともに、コンビニ納税を継続する。	

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
② 自動車税滞納整理目標額の設定	210百万円	H22	198百万円	H23	平成22年度の滞納整理率37.5%を基に設定
④ 自動車税納期内納税率の向上	70.0%	H22	71.8%	H23	
④ 口座振替納税率の向上	12.4%	H22	13.3%	H23	行革大綱2011において自動車税の口座振替納税率全国第5位以内を目標に設定



23年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 適正課税の推進	課税事務の適正化を推進するため、小松県税事務所及び奥能登総合事務所における課税業務を、それぞれ金沢県税事務所及び中能登総合事務所に集約し、課税事務のチェック体制の強化を図る。
② 滞納税額の縮減	滞納税額の縮減に資するため、県が賦課徴収する税目で件数及び滞納税額の最も大きい自動車税滞納税額について、滞納整理目標額を設定し計画的な滞納整理を進める。
③ 個人県民税の税収確保	個人県民税の税収を確保するため、県税職員と市町税務職員の相互派遣を実施し、市町における(個人住民税を中心とした)滞納整理の促進を図るとともに、県による直接徴収を引続き実施する。なお、23年度は、県と市町が共同して滞納整理を実施する組織の設立を目指す。
④ 納期内納税の促進	納期内納税を促進するため、口座振替納税率の向上を図るとともに、コンビニ納税を継続する。